

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	浜益グループホームなごみ運営事業	2-14
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	2
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	保健福祉部地域包括支援センター	直通電話	72-7017
担当部長	鎌田 英暢	担当課長	田森 正廣
		担当者	浅野 貴雄

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	要介護状態の認知症高齢者に、住居を提供し食事、入浴、排せつ等の生活全般のサポートをする。 (定員7名)		
(2)事業開始年度	平成15年	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	2 健康であわせに暮らすまち	
	施策項目(大)	(2)高齢者福祉の充実	
	施策項目(小)	自立支援サービスの充実	
	施策コード	20201	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	地域との交流や各種事業の開催などを通じ、認知症の症状の改善又はその進行を緩和する。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	入居者が安心した生活が出来るようにする。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	指定管理制度導入により管理運営を委託する。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	社会福祉法人厚栄福祉会に3施設(特別養護老人ホーム・認知症高齢者グループホーム・シルバーホーム)を一体的に指定管理している。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	26,528	8,823	9,526	10,091
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)	2,590	1,657	1,794	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	29,118	10,480	11,320	
事務に従事した正職員延べ人数	0.30	0.20	0.20	

4 事業に投入した行政資源の減額内容											
収入	区分	H17	H18	H19	H20予算	支出	区分	H17	H18	H19	H20予算
	市補助金等(A)										
平成18年から指定管理者制度を導入したことにより、利用料金等の収入が直接指定管理者の収入になることから、市からの委託料(直接事業費)を減額している。											
	計(B)	0	0	0	0		計	0	0	0	0
	(A/B)										

5 事業活動の結果						(単位:千円・%)
活動指標名		H17	H18	H19	H20	
入所者数(人)	目標値	6	6	7	7	
	実績値	6	6	7		
	達成率	100.0	100.0	100.0		
交流会等事業数(回)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定	
	実績値	25	25	34		
	達成率	-	-	-		
	目標値					
	実績値					
	達成率					

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
交流会等事業参加者数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	368	396	539	
	達成率	-	-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい	ア 施策との関連	1 密接な関連がある
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか	2 普通	事業の成果と施策の成果とに関連があるか	2 関連がある
	3 小さい		3 関連はほとんどない
イ 市の関与	1 行政にしかできない	イ 成果	1 すべて達成している
その事業に市が関与する必要があるかどうか	2 民間等でもできる	事業の成果は目標を達成しているか	2 一部達成している
	3 民間等でやるべき		3 達成していない
(2) 効率性		ウ 事業内容	1 極めて妥当
ア コスト削減	1 不可能である	目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か	2 一定の妥当性あり
コスト削減は可能か	2 難しい		3 妥当性が低い
	3 可能である		
(3) 公平性		(1)~(4)の評価ポイント合計	
ア 受益者負担	1 不可能である	総合評価の参考にしてください。	
さらなる受益者負担は可能か	2 難しい	7~11	A or B
	3 可能である	12~15	B or C
		16~21	D or E
		14	

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		福祉施設3施設の一体化した指定管理委託により、経費の節減や地域交流の合同開催などサービスの向上が図られている。(定員7名)	
C	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題	浜益地域で事業展開している他の福祉施設との更なる一体化した指定管理者制度の活用を検討する。		
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		福祉区のふくしの里として、指定管理者制度を導入し良好に運営している。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題	地域密着型介護サービスを提供する施設としての役割は重要であり、より良好なサービス提供を目指す。		
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
区内の他の類似施設の一体管理を進め、効率的な運営を図る。			